

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきざいだんほうじんおおつきのうがくどう			
	制作団体名	公益財団法人大槻能楽堂			
	代表者職・氏名	理事長・大槻文藏		団体ウェブサイトURL https://noh-kyogen.com/	
	制作団体所在地	〒	540-0005	最寄駅(バス停)	国立病院大阪医療センター
		大阪府大阪市中央区上町A番7号			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな				
	公演団体名				
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL	
	公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	昭和23年5月			
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
		理事長:大槻文藏, 常務理事:大槻裕一, 武富康之, 理事:赤松禎友, 天野文雄, 出田善蔵, 大槻久実子, 齊藤信隆, 佐伯照道, 宮辻政夫, 監事:植田卓, 西田隆郎		評議員:11人 理事:10人 監事:2人 評議員:評議員選定委員会にて選任。 理事・監事:評議員会にて選任。 事務局員:7人(常勤4人/非常勤3人)	
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	西光沙頼	
経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	佐々木奈津美		
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号		
	junkai-ohtsuki@noh-kyogen.com		0667618055		

制作団体沿革・主な受賞歴	<p>昭和10年9月 故大槻十三(初代理事長)が現在の地に「大槻清韻会能楽堂」として設立。それまで疊敷・升席が普通であった能楽堂を、500席の椅子席にし、天井にシャンデリアを施し、二階にはレストランを設け通常営業を行うなど大変先進的な能楽堂であった。</p> <p>昭和23年5月 能楽堂が公共的役割を果たすことを目的に、舞台・装束・能面等を個人から寄附して財団法人を設立し、正式名称を財団法人大槻清韻会能楽堂に改める。(初代理事長・大槻十三)</p> <p>昭和31年 大阪府芸術章を受賞</p> <p>昭和34年9月 客席・ロビー等大規模改修</p> <p>昭和37年2月 二代目理事長に大槻秀夫が就任</p> <p>昭和55年12月 消防法の大改正・建物の老朽化に伴い、旧建物を残しての復旧は難しく、全面的建替えとして一時閉堂する。</p> <p>昭和58年5月 大槻能楽堂 新装オープン。</p> <p>昭和59年4月 大槻自主公演が始まる</p> <p>平成3年12月 二代目理事長大槻秀夫 逝去</p> <p>平成4年4月 三代目理事長に大槻文藏が就任</p> <p>平成22年10月 大槻自主公演が500回を迎える記念公演を催す。公益財団法人の認可を受ける</p> <p>平成26年4月 能舞台が国の「登録有形文化財(建造物)」に登録される</p> <p>令和元年7月 設備の老朽化に伴いリニューアルするべく半年間閉堂する。</p> <p>令和2年1月 第一期リニューアルオープン。</p>
制作団体の実績	<p>約60年間にわたって、小学校から大学の学生能楽鑑賞を約年間5~10公演程度、実施。(直近)</p> <p>令和元年度 大阪府内高校3校(演目「巴」、「葵上」、「土蜘蛛」) 大阪府内小学校 1校 WS</p> <p>令和2年度 大阪府内高校1校(演目「土蜘蛛」)／大阪府内小学校 1校 (WS)</p> <p>令和3年度 大阪府内高校2校(演目「土蜘蛛」、「葵上」)／大阪府内小学校 1校(WS)</p> <p>令和4年度 大阪府内高校3校(演目「巴」、「葵上」、WS)／大阪府内小学校 1校(WS) /府外大学 1校</p> <p>令和5年度 大阪府内高校2校(演目「土蜘蛛」、「葵上」)／大阪府内小学校 1校(WS) /府外大学 1校</p> <p>令和6年度 大阪府内高校6校(演目「土蜘蛛」、能「葵上」、WS、狂言) /大阪府内小学校 1校(WS) / 府外大学 1校</p> <p>令和7年度 大阪府内高校3校(演目「土蜘蛛」、「葵上」、「羽衣」)／大阪府内小学校 1校(WS)</p>
特別支援学校等における公演実績	<p>平成22年度 長崎県立大村特別支援学校</p> <p>平成25年度 山梨県立盲学校</p> <p>平成28年度 福井県立福井特別支援学校</p> <p>平成29年度 東京都立北特別支援学校 大阪府立中央聴覚支援学校ワークショップ(大槻能能楽堂にて)</p> <p>平成30年度 茨城県立北特別支援学校</p> <p>令和5年度 福岡県立小倉聴覚特別支援学校</p> <p>令和6年度 大阪教育大附属特別支援学校</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有			
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/MThigBO-Ggk			
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	<table border="1" data-bbox="933 1769 1406 1837"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

別添

なし

【公演団体名

公益財団法人大概能楽堂

】

対象	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	小学生(中学年)	<input type="radio"/>	
	小学生(高学年)	<input type="radio"/>	中学生	<input type="radio"/>	
企画名	楽しい！面白い！能「土蜘蛛」で能楽体験				
企画のねらい	<p>本企画では、初等教育および中等教育の段階で、世界最古の現存する演劇であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「能楽」に、直接触れることで、子供たちが自国の文化を理解し誇りを持つとともに、今後ますます加速する国際化に対応できるよう、他の国々の舞台芸術や文化への関心や理解を育む契機とすることを目指しています。</p> <p>まず能楽師がスクリーンを用いて、歴史や成り立ちを紹介する「能楽とは？」という、わかりやすい解説を行います。その後、謡の体験、囃子のエア体験、能面を付けて舞台を歩く体験などを通じて、演者の役割や舞台上におけるコミュニケーションを体感します。こうした参加型のプログラムにより、子供たちは能楽の背景を理解しつつ主体的に関わることができ、公演を興味深く鑑賞することができるよう考えています。</p> <p>続いて実際の能楽公演を鑑賞します。事前にストーリーを解説することで理解を深め、能楽を「難しい」ではなく「楽しい・面白い」と感じられる構成とします。さらに、公演後には紙製の能面を配布し、事後学習へと発展させることで、一過性の体験にとどまらず、教育活動として学びを持続できるよう工夫しています。</p> <p>また、弊財団が掲げる「本物の芸能を子供たちに体験していただく」という理念を実現するため、特設の能舞台を設置します。これにより、能楽堂での鑑賞に近い環境を提供し、児童・生徒が舞台芸術の持つ迫力や緊張感を実感できるようにいたします。また、特設の能舞台設営は能舞台が近くに近く能楽に触れる機会が限られている地域の子供たちにも等しく「本物の体験」を届け、地域格差を是正するために不可欠であると考えております。</p> <p>このように、児童・生徒が自ら参加し、体育館に突如現れた能舞台にて繰り広げられる迫力ある舞台を体験することで、鑑賞能力を高めるだけでなく、豊かな感性を育み、伝統芸能の次世代への継承を促すものです。本企画は、子供たちにとって一生心に残る「一度きりの公演」となり、将来にわたって文化芸術を尊重する心を育む重要な経験となることを目指します。</p>				
演目概要・演目選択理由	<p>能「土蜘蛛」</p> <p>能楽は「舞台芸術」「演劇」であること、今も昔も変わらぬ「人の心の喜怒哀楽」が表現されている事を伝えたいと考えています。能「土蜘蛛」は、能の中でも特に人気の高い演目であり、初心者向け、子供向けの公演でも多く上演されております。</p> <p>また歌舞伎や文楽等、後世の芸能にも大きな影響を与えており、能楽から演劇のルーツを探ってもらえると考えました。</p> <p>又、この演目の演出は蜘蛛の巣の糸が縦横無尽に放たれ、複数人が切り合うといった場面があります。</p> <p>その派手で視覚的にわかりやすい舞台展開は、能楽を初めて鑑賞する児童・生徒にとって、集中力を途切れさせすことなく、印象深く鑑賞し、「楽しい！面白い！」と感じてもらえる演目であり、能楽の魅力を体験する入門曲として最適と考え、選択しました。</p> <p>【あらすじ】</p> <p>病氣で臥せる源頼光のもとへ、夜も更けた頃、見知らぬ法師が現れ、「病状はどうか」と尋ねる。よく見るとその姿は蜘蛛の化け物で、千筋の糸を繰り出す。頼光は、名刀、膝丸を抜き、斬りつけると、法師はたちまち姿を消してしまう。頼光の侍臣独武者が駆けつけると、頼光は事の次第を語り、蜘蛛の化け物を成敗するよう、独武者に命じる。土蜘蛛の血をたどっていくと、化け物の巣とおぼしき古塚があり、その中から土蜘蛛の精が現れる。土蜘蛛は千筋の糸を投げかけるが、大勢で取り囲み、ついに土蜘蛛を退治する</p>				
本公演・ワークシヨン	児童・生徒の参加または体験の形態	<p>◆謡(うたい)体験</p> <ul style="list-style-type: none"> …全校生徒で校歌の謡(校歌にフシをつけ謡にアレンジしたもの)に挑戦し、全校生徒で能楽師の囃子に合わせ謡い能楽師と共に演。 <p>◆囃子(はやし)体験</p> <ul style="list-style-type: none"> …能楽に使用する楽器(主に鼓)をエア楽器(楽器を持たずに)でリズムなどを体験し、能楽師の謡に合わせ、生徒が練習したエア楽器と合わせ、能楽師と共に演。 <p>◆能で使うあれこれクイズ！(能面や小道具を紹介し、登場人物を当ててもらう)</p> <ul style="list-style-type: none"> …能面や小道具のみを使用した紋付き姿の能楽師を見て、どんな登場人物かをクイズ形式で参加していただきます。 <p>◆能面体験</p> <ul style="list-style-type: none"> …実際の能面を、選抜して頂いた生徒数名が身に付け、舞台を歩く体験をします。 			

プロの内容	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人數目安	400名程度(全員による謡共演があるため)		
			鑑賞人數目安	400名程度(フロアサイズによる)		
本公演演目		演目 能「土蜘蛛」 総合演出「大槻文藏(人間国宝)」 ■プログラム 1部 ◆はじめての能楽 ▶オープニング演奏 ▶能楽について(スクリーンにてイラスト・画像や映像を投影しながら能楽師が解説) ◆謡ってなに?(謡に挑戦／開催校の校歌・能versionを生徒と共に演) ◆エアで能の楽器体験!(囃子(はやし)解説/エア楽器体験) ◆能で使うあれこれクイズ!(能面や小道具を紹介し、登場人物を当ててもらう) 2部 ◆能面を付けて舞台を歩こう!(選抜生徒数名による能面体験) ◆能楽を観てみよう ▶能「土蜘蛛」ストーリー説明(スクリーン使用) ▶能「土蜘蛛」鑑賞 ◆公演のまとめ・事後学習の説明(紙製能面の配布)				
原作/作曲 脚本 演出/振付		公演時間 100 分				
出演者	シテ方 大槻文藏・大槻裕一・赤松禎友・上野雄三・齊藤信輔・武富康之・山本博通・等 ワキ方 福王和幸・福王知登・喜多雅人 囃子方 齊藤敦・清水睦祐・山本哲也・中田弘美 等 狂言方 善竹隆司・善竹隆平 等	(シテ1・シテツレ1・地謡4・後見2・傭2) (ワキ1・ワキツレ1・傭1) (笛1・小鼓1・大鼓1・太鼓1) (アイ1・傭1)	全10名 全3名 全4名 全2名			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	は重要無形文化財(各個認定・人間国宝) は重要無形文化財保持者 ※能楽界第一線で活躍している能楽師を主に、他のメンバーも交え、日程を考慮した上で構成					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人數 含む	総合監督・演出/大槻文藏/昭和17年9月25日大阪市生・平成4年12月 財団法人大槻能楽堂理事長就任 平成24(2012)年12月 三老女を完演 平成28年重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定・平成30年文化功労者選出 メインキャスト/大槻裕一/1997年9月2日大阪市生・2022年 観世流準職分・2020年公益財団法人大槻能楽堂常務理事就任 2023年11月「道成寺」を披く 2023年 咲くやこの花賞受賞、2023年 大阪文化祭奨励賞 受賞 舞台監督 / 山中舞 / 1981年大阪市生・2003年株式会社スタッフユニオン入社。現在、株式会社スタッフユニオン代表。 山中元氏・矢野森一氏の助手として、オペラや演劇・ミュージカル等の演出部として経験を積む。 また能などの伝統芸能にも舞台監督として参画。					
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	出演者: 19 名 スタッフ: 7 名 合 計: 26 名	運搬	積載量: 3 t 車 長: 7 m 台 数: 1 台			
※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。	前日仕込	無	前日仕込所要時間	時間程度		
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:00-12:00	13:30-15:20	10	15:20-17:20	17時30分
本公演 実施可能日数 目安	6月 9日 10月 12日	7月 9日 11月 12日	8月 5日 12月 12日	9月 9日 1月 8日	計	76日
※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	※平日の実施可能日数を記載ください。					

本公演・ワークショップの内容

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



※基本
体育館横方向に特設能舞台を設置
舞台設置に必要な面積
約8m×10m



※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡



※能「土蜘蛛」上演の様子

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名			
				許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益財団法人大槻能楽堂】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	本公演の能楽鑑賞がより興味深く、楽しく印象に残るよう企画。 お話、説明の後に、「実際にやってみる」ことを多く取り入れています。 能楽師と楽しく触れ合い、実際に能面を作成し、謡や囃子に挑戦することで、演劇の中でも敬遠されがちな「能」をより身近に感じることができます。また自身で体験することにより、能の難しさも面白さも、身を持って感じて頂けます。事前にこうした体験をすることで、本公演の能楽鑑賞の興味をより引き出します。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	150名程度(応相談)
	能楽師数名が訪問し、子供達と交流します。 ◆プログラム 【能について】 ① オープニング演奏 謡の体験で使用する曲を演奏し、子供たちの興味を引き付けます。 ② 能についてのお話 能の歴史・能の登場人物・囃子の解説にパネルを使用して、クイズ形式でレクチャーします。 ③ 謡(うたい)の体験 能楽の基本となる謡を体験。 開催校の校歌にフシをつけ謡にアレンジしたものに挑戦。謡を身近なところから学んでもらいます。 ④ 囃子(はやし)のお話・体験 (小学生向け)囃子の解説では、楽器の成り立ちだけでなく、エア(口や身振りで)楽器体験。 (中学生向け)さらに、指揮者がいない能の舞台で、楽器演奏者がどのようにして、音を併せているのかを、生徒をグループにわけレクチャーし、最後に合奏(合唱)することで、囃子方のコミュニケーションの取り方を学んでもらいます。(ドラムセットをシンバル・バスドラム・スネアドラム等それぞれにわけて練習し、最後に音を合わせるイメージです)			
	ワークショップ実施形態及び内容	 【能の主役になっていみよう】 ⑤ 紙製能面を作成 専用紙を用いてオリジナルの能面作成して頂きます。 能の象徴である能面を作りながら、その魅力や表情の不思議さを感じ、本公演をより楽しく理解できるようになります。また、作成過程では能楽師も生徒と共に参加し交流を深めることで、子供たちが能楽を身近に捉え、理解を一層深める機会となります。 ⑥能楽師の類似体験 練習した校歌(能バージョン)を、能の囃子に合わせて合奏します。 (休憩含む100分程度) その他にWS時間によって、⑦ 質疑応答 を組み込むことが可能です。 ※⑤能の小道具作成をご希望で無い学校の場合などは⑥型の体験や⑦質疑応答、③の「エア楽器」等の体験の内容を増やしたり、謡・仕舞・囃子などのお稽古を中心とした内容に変更することも可能です		
その他ワークショップに関する特記事項等	◆クイズ形式で能の登場人物紹介:写真パネルに能の登場人物を紹介。 クイズ形式で能楽師とのコミュニケーションを図ります。 ◆謡体験:昔は親しまれていた謡を身近な歌詞からアプローチ。 知っている“歌”から学ぶ事で、印象に深く残ると考えました。 ◆囃子の体験:エア楽器(楽器が実際にあるように自分の声と身振りで演奏する)で楽しく、体験して頂きます。 ◆能面作成(オリジナル能面制作): 能を代表する能面を、専用用紙を使用し、世界で一つの能面を作成。 ◆能楽師の類似体験 能楽師との共通体験により、能楽をより身近に感じられます。 『体験紹介コンテンツ』 YouTube大槻能楽堂チャンネル 「楽器がなくてもお稽古ができる 能楽囃子体験シリーズ」 https://youtu.be/Oi_JTMwS5mw			図)ワークショップ時の様子

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名】 公益財団法人大槻能楽堂】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。				
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。				
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。				
	上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。				
	任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。				
	詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただることになります。				
	なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。				

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量	0 プロアコン セントは必要	A以上
	舞台設置面積	間口 高さ	24 m 不明	奥行 m	10 m
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	条件が合えば可
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	2 m
	遮光の要否	7割程度必要	縦幕の要否	あれば使用する可能性がある	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定		
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の 搬入対応可能距離	なるべく近く	m以内
	搬入車両の種類	中型トラック	台数	1 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	1.7 m	車長	4.7 m
	備考				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否	要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	上記会場条件に合わない箇所がある場合は、会場や搬入間口や搬入経路等の写真の提出要			

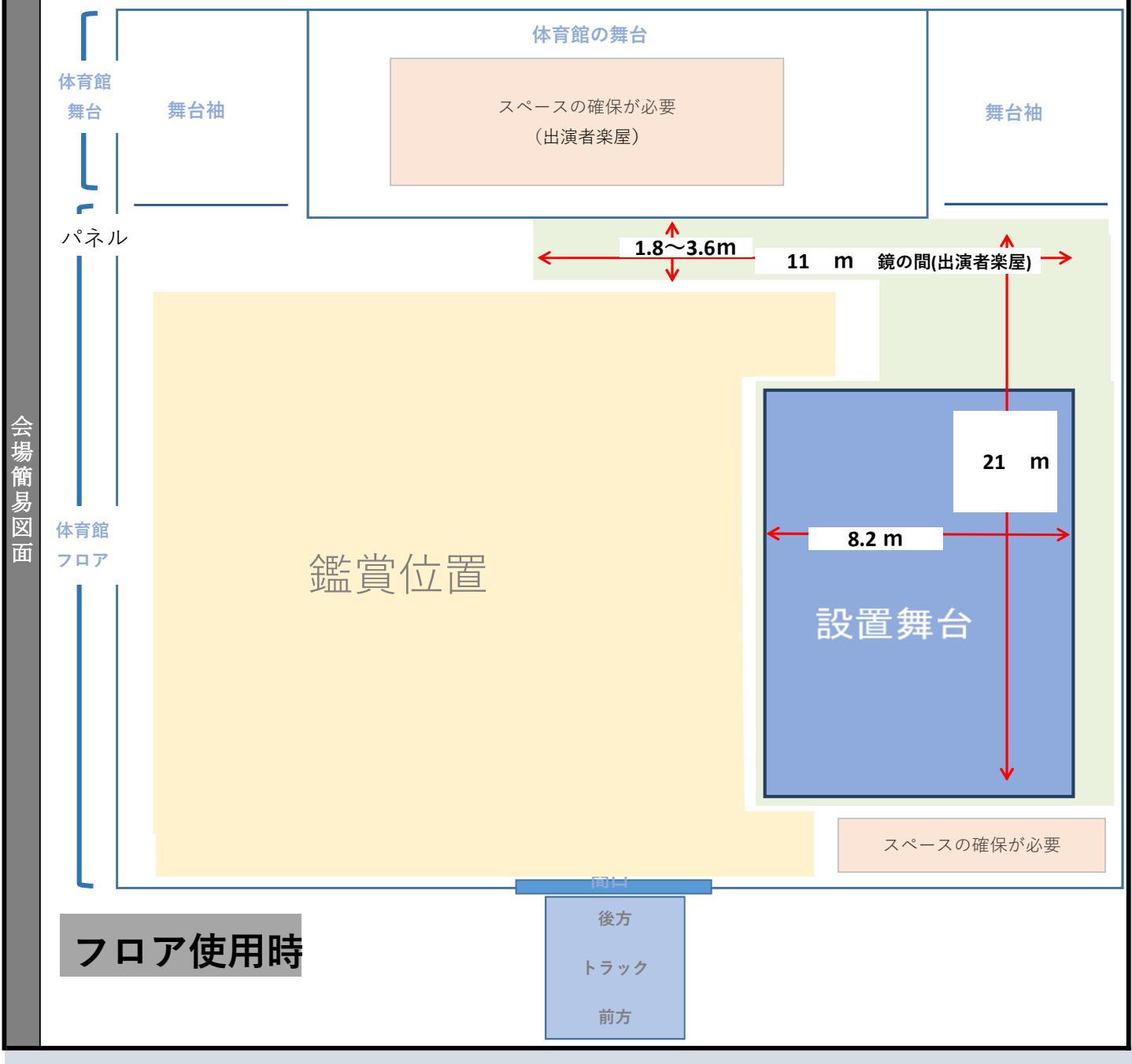
時間外対応	(任意)		万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。		
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。				
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
ワークショップ					
本公演					
本公演					

個別確認事項	(任意)		上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。		
	個別ヒアリング事項				
	1				
	2				
3					

(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】 公益財団法人大概能楽堂】

本事業への応募理由等	本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	<p>【本事業を通じて実現したいこと】</p> <p>弊財団は、日本の伝統芸能である能楽の振興および普及を目的に、公演の開催や能舞台の公開・貸出など、多様な活動を展開してまいりました。本事業では、こうした活動の延長として、「将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場をつくり、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進すること」を目指します。</p> <p>とりわけ、能楽堂のない地方や離島などにおいて、児童・生徒が能楽に触れる機会を創出することは大きな意義を持ちます。現存する世界最古の演劇であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている能楽を、初等教育・中等教育の段階で体験することは、伝統芸能の次世代への継承や、舞台芸術を通じた豊かな感性の育成につながります。</p> <p>また、本事業を通して日本の文化に触ることは、子供たちが自国の伝統を理解し誇りを持つ契機となります。さらに、国際化が進む現代においては、他国の文化や舞台芸術への関心や理解を深めるきっかけとなり、将来にわたり広い視野を養う重要な経験になると考えております。</p>
		<p>【上記の実現に向けて、実施の工夫】</p> <p>多くの児童・生徒にとって初めての能楽鑑賞となることを踏まえ、能楽を「わかりやすく、楽しく」理解できる工夫を施しております。まず、スクリーンを活用し、イラスト・画像・映像を用いて能楽の歴史や特色を体系的に紹介します。その後、謡や囃子のエア体験、能面着用による舞台体験などを通じて、児童・生徒が主体的に参加しながら能楽への理解を深められるよう構成しています。これにより、実際の能楽公演をより興味深く、積極的に鑑賞できる効果を期待しております。</p> <p>また、弊財団が掲げる「本物の芸能を子供たちに体験していただく」という理念を実現するため、様々な学校の体育館に設営できる特設の能舞台を設置し、能楽堂での鑑賞に近い環境を提供します。これにより、能楽堂のない地域においても地域格差の是正を図りつつ、伝統芸能への接触機会を確保できるようにしています。</p>
		<p>【学校との連絡調整について】</p> <p>本事業の実施が決定しました段階で、まず実施校のご担当者様にお電話にてご連絡を差し上げ、最初のコミュニケーションを取らせていただいております。その上で、ワークショップや本公演の実施にあたってのスケジュール、事前確認事項、公演の流れを記載した資料をお送りし、内容をご確認いただきながら調整を進めております。</p> <p>また、近年は大人であっても能楽に触れる機会が少ないとから、実施校の先生方に向けても、能楽に関する基本的な知識や実施内容の詳細をまとめた資料を事前に配布しております。これまでの実施校では、「自分自身が能に詳しくないため、生徒に鑑賞させる自信がない」と不安を抱かれる先生もいらっしゃいました。そこで、こうした不安を払拭し、先生方のご理解のもとで安心してご協力いただけるよう、資料の整備と密な連絡を心がけております。先生方のご協力があつてこそ、公演がより充実し、児童・生徒にとって楽しく有意義な芸術鑑賞の時間になると考えております。</p>
	事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	<p>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</p> <p>担当の先生とご連絡を取る際には、実施校ごとのご希望やご要望を丁寧にお伺いしております。特に特別支援学校においては、視覚・聴覚・触覚など、どの感覚に重点を置くべきか、また配慮すべき点について事前に確認し、その内容を踏まえて公演の進行や体験内容を調整しております。</p>
		<p>【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】</p> <p>本公演後も生徒たちが再び能楽に触れる機会を持てるよう、宿題として紙製能面を配布いたします。「家族に今日見て聞いたことを伝えてください」としており、作り方や使用方法もあわせて説明します。生徒が実際に再度体験し、思い出しながら伝えることで、舞台鑑賞の記憶がより深く心に残ることを目的としています。</p> <p>紙製能面があることで、生徒同士でも自発的に公演の内容を振り返るきっかけとなり、ご家庭で能楽について話す機会を作ることができます。これにより、公演後の事後学習が自然に促進され、鑑賞体験の学習効果を高めます。</p> <p>さらに、弊財団ではYouTubeチャンネルを通じて、お囃子の体験コンテンツや能の映像、能のストーリー解説など、さまざまな能楽関連コンテンツを提供しております。本事業終了後も生徒たちが継続的に能楽に触れ、学びを深められる環境を整えております。</p>